



◆ 今回の特報は、和梨と西洋梨に分かれております。

- ◆ ナシの生育は、昨年比べて7日程遅れています。南水の結実状況は、開花期の天候不順、低温、霜等の影響により全体的に不良です。摘果では、着果位置の悪い果実（上向き果など）、変形果、果台の短い果実でも残し生産量を確保してください。

● 和梨（有袋）の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

【有袋】6月下旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期	6月25日～30日 ※左記は目安となります	◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 20ml ベルコートフロアブル 50ml (14日前、5回) ⑧ スupraサイド水和剤 66g (7日前、3回)	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類	
散布量	10a当り：450ℓ以上	
注意事項	① 袋かけ前の防除とする。 ② スupraサイド水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。 ③ 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100ℓ当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる	

【有袋】7月上中旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期	7月10日～15日 ※左記は目安となります	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 20ml アーデントフロアブル 50ml (前日、3回) ロブドー水和剤 125g (14日前、5回)	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、カメムシ類、ハダニ類	
散布量	10a当り：450ℓ以上	
注意事項	① ロブドー水和剤に代えて、キノンドー顆粒水和剤1,000倍（3日前、9回）でもよい。 ② 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。	

◆ 和梨（無袋）の定期防除は次ページをご覧ください

和梨（無袋）の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

【無袋】6月下旬の薬剤散布（前回より10日後）

散布時期	6月20日～25日 ※左記は目安となります	◆ 散布日：6月 日
散布薬剤	水 100ℓ 展着剤 10mℓ ベルクトフロアブル 50mℓ（14日前、5回） 劇 スupraサイド水和剤 66g（21日前、2回）	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、カイガラムシ類、カメムシ類	
散布量	10アール当り：450リットル	
注意事項	① 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬剤付着効果が高まる。 ② スupraサイド水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。	

【無袋】7月上旬の薬剤散布（前回より10日後）

散布時期	7月1～5日 ※左記は目安となります	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り アーデントフロアブル 50mℓ（前日、3回） ロブドー水和剤 125g（14日前、5回）	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、カメムシ類、ハダニ類	
散布量	10アール当り：450リットル	
注意事項	① 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。	

【無袋】7月中旬の薬剤散布（前回より10日後）

散布時期	7月10～15日 ※左記は目安となります	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水 100ℓ 当り ベルクトフロアブル 50mℓ（14日前、5回） 劇 オリオン水和剤40 100g（3日前、2回）	◆ 散布量 リットル
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：450リットル	
注意事項	① 固着性展着剤のアビオンEの1,000倍を使用すると薬液付着効果が高まる。 ② オリオン水和剤40は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑を持参してください。	

次回特報 発行予定日：7月17日

7月下旬、8月上中旬の薬剤散布について